

2021 年度 DRP 検討委員会
第 1 回会合議事録 (案)

日時： 2021 年 5 月 27 日(木) 10:00～12:00
場所： リモートでの開催

1. 議 題：

1. 2020 年度第 7 回 DRP 検討委員会議事録案について
2. 2021 年度活動方針について
3. 2021 年度パネリスト候補者研修について
4. 英語による裁定についての報告
5. その他

2. 資料一覧：

- 資料 1 2020 年度 DRP 検討委員会第 7 回会合議事録 (案)
資料 2 2021 年度 DRP 検討委員会活動方針に向けた検討課題リスト (案)
資料 3 2021 年度パネリスト候補者研修について

3. 出席者(50 音順)(敬称略)

	氏名	所属
DRP 検討委員会 委員長	井上 葵	アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法 共同事業 弁護士
DRP 検討委員会 委員	卜部 晃史	弁護士法人 瓜生・糸賀 法律事務所 弁護士
DRP 検討委員会 委員	早川 吉尚	立教大学 教授/弁護士
DRP 検討委員会 委員	山口 裕司	大野総合 法律事務所 弁護士 日本知的財産仲裁センター副センター長
担当理事	曾根 秀昭	JPNIC 常務理事 DRP 担当

JPNIC 事務局：林 宏信、前村 昌紀、山崎 信

4. 傍聴

JPNIC1 名

5. 議事

10時に井上委員長により開会された。

議題1. 2021年度第7回会合議事録(案)について

- ・2021年度第7回の議事録については、結論を記載する形となったが、すでにメールベースで確認されていると思うので、特段の意見が無ければ最終版とする。(井上)

議題2. 2021年度活動方針について

- ・資料2「2021年度DRP検討委員会活動方針に向けた検討課題リスト(案)」について、リストの1から5は、これまで議論してきた内容でもあり、本年度の検討課題とすることは妥当であることから、これらを2021年度の検討課題とすることを確認した。

議題3. 2021年度パネリスト候補者研修について

- ・新しいパネリスト候補者に入っていただくことから、ドメイン名とJP-DRPの基本的なことや電子化についてガイダンスする必要がある。また、英語での裁定を実施したことから、今後の英語での対応の研修も必要である。
- ・新しいパネリスト候補者のために、7月から8月に1回実施するのが適当ではないか。
- ・研修をしっかりと行うことが、裁定の質を担保するためにも、ADR機関として重要なことであり、最近の裁定例などの勉強会なども加え、年間3回程度は実施すべき。
- ・運営の負担も考慮しつつ、今年度の第1回目は、7月2日(金)に2時間枠で、山口委員を講師として、JP-DRPの基礎から最近の話題などを手続言語の問題含めた内容で開催する。2回目は、9月頃に、実際に実施された英語での裁定についての内容を中心に開催する。2021年度は、取り敢えず2回開催し、3回目を開催するかどうかは、継続検討とする。

議題4. 英語による裁定についての報告

- ・山口委員より、初めてとなる英語での裁定について、英語での裁定に至った経緯、英語で裁定の内容について、日本語の裁定書との違いや課題などについて解説があり、状況を共有した。また、WIPOから、ccTLDでの裁定を多く実施しており、JP-DRPについても対応できるという話があることが、改めて共有された。

議題 5. その他

- ・ 次回検討委員会は、7月19日（月）14時から16時で開催することとする。

以上をもって、井上委員長により会議は12時00分に閉会された。

以上